

プレスリリース

情報解禁日時：2026年1月14日7:00

ビッグクラウン ポインター デイト 「ブルズアイ」

オリスの独立した精神を象徴する物語が、コレクターたちから「ブルズアイ」と呼ばれるビッグクラウン ポインター デイト の非限定モデルで鮮やかに浮かび上がります。

ORIS
HÖLSTEIN 1904





独立であること

ビッグクラウン ポインター デイトはオリスを象徴するモデルであり、自由な発想を持つ人々によって、好奇心旺盛な人々のために生み出されました。

120年以上にわたるオリスの歴史は自由な発想と独立心の物語です。私たちは登記上も独立した企業であり、グループの一員ではありません。また、短期的な利益を目的とする投資家に所有されているわけでもありません。

実際のところオリスにとっての独立とは、私たちが自らの判断で意思決定を行い、私たちとお客様にとって正しいと信じる道を選べることを意味します。だからこそ、私たちは機械式時計だけを製造しています。そして、人と地球、環境への深い敬意を活動の中心

異なるアプローチ
オリスの本拠地であるヴァルデンブルク渓谷のヘルシュタインは、ビッグクラウン ポインター デイトのような時計デザインにインスピレーションを与えてきました。



に据えています。さらに、ステータスよりも本質を重視した時計づくりを信念としています。これが私たちの姿であり、常にそうであり続けてきました。

この理念ゆえに、オリスは独立した精神を持つ時計愛好家に支持されてきました。流行に流されるのではなく、自らの考えを持ち、規律と献身をもって夢を追い求める人々です。この立場を築くのは容易ではありませんでしたが、同じ自由な発想の哲学を共有する世界中のお客様を誇りに思っています。

その象徴的な存在のひとつ

が、1938年にパイロットのために発表したビッグクラウン ポインター デイトです。大型のリューズ、大きなアラビア数字、そしてユニークなポインター デイト機能を備えたこの時計は、シンプルでエレガント、かつ人間工学に基づいたデザインで、時代を超えて愛されてきました。約90年を経た今も、ビッグクラウン ポインター デイトはオリスのアイコンとして生き続けています。

そして今日、その物語は「ブルズアイ」と呼ばれるビッグクラウン ポインター デイトに引き継がれて続いている。



物語の真 ん中に

前回から約30年を経て、ビッグクラウン ポインター デイト「ブルズアイ」が再登場。オリスの独立心を物語る、時代を超えた時計デザインです。

オリスの独立した精神を理解するには、その原点に目を向けることが重要です。オリスは1904年、伝統的な時計製造の街ル・ロックル出身の2人の時計職人が、スイスのドイツ語圏にある北部産業地域へ移住したことによって誕生しました。彼らのビジョンは、フランス語圏南部の手作りのクラフツマンシップと北部の産業力を融合させ、美しいデザインとともに、品質・精度・信頼性を兼ね備えた時計を手頃な価格で提供することでした。

それは当時の常識に逆らうものでしたが、成功しました。オリスは急成長し、美しいデザインと高精度を誇る時計やクロックで知られるようになりました。こうして独立の伝統が築かれたのです。

“

ビッグクラウンはオリスそのもの。永遠に語り継がれるデザイン。

1938年、ビッグクラウン ポインター デイトが誕生しました。航空機の操縦士が視認しやすいように設計され、中央のポインター デイト針で日付を示す機能を備えていました。シンプルで親しみやすいデザインは、以来、多くの時計愛好家の心をつかみ、オリスのアイコンとなりました。

そして今日、その物語は時代を超えて登場した、このダイアルデザインとともに続きます。オリスが初めて「ブルズアイ」ダイアルを導入したのは1910年代。当時のカタログには、二色の同心円デザインを持つ懐中時計が掲載されています。

このデザインは何度も登場し、20世紀半ばには高い人気を誇りました。最後に採用されたのは1998年。それ以後、姿を消していました。

そして今、ビッグクラウン ポインター デイト「ブルズアイ」として復活します。このモデルは38mmのビッグクラウン ポインター デイトをベースに、大型のリューズ、コインエッジベゼル、そして自動巻き機械式ムーブメントを搭載し、象徴的なポインター デイト機能を備えています。グレーとブラックのダイアルに、スポーティな赤いデイト表示のリング、赤い先端を持つポインター デイト針を組み合わせたデザインです。ビッグクラウンの歴史に新たな一章を刻むモデルです。

「ビッグクラウン ポインター デイトは、オリスの独立した精神を体現しています」と、当社会長ウーリック W. エルゾックは語ります。「今回のモデルは時代の精神を捉え、ビッグクラウンがなぜ時代を超えたデザインであるかを改めて示しています。」



オリスの会長ウーリック W. エルゾックは
1978年に入社しました。その後、彼は経営
陣による買収を共同で主導し、オリスの独
立を確保しました

インタビュー：ウーリック W. エルゾック

自由な発想



1978年にオリスに入社し、時計業界で最も長いキャリアの一つを持つウーリック。当時を振り返って、どんな思い出がありますか？

オリスに入社する前は、銀行業界と石油業界で働いていました。時計業界への転身は大きな変化でした。巨大な物理的ボリュームや莫大な数字を扱う世界から、パーツが百分の一ミリ単位で測定される小さな製品の世界へ。最も印象的だったのは、この重要なスイス産業が世界中に製品を供給し、スイス時計メーカー、特にオリスが世界的な魅力を持っていることを直接学び、目の当たりにしたことです。

入社当初、時計業界は「クオーツショック」に直面していました。その頃の記憶は？

非常に厳しい時代でした！ほとんどすべてのスイス時計メーカーが財政難に陥り、支援を求めざるを得ませんでした。業界の雇用者数は約9万人から約3万人に減少しました。当時、オリスはASUAGグループの一員で、そのグループも苦境に立たされていました。しかし、強い企業は生き残り、この危機は業界にとって大きな転換点となりました。

オリスも危機の犠牲になる寸前だったのですか？

本当に危なかったです！オリスは主に英国と英國領の国々で、エントリープライス帯に強みを持っていました。しかし価格面で

強い圧力を受け、工場閉鎖がグループ経営陣によって検討されました。

しかし、1982年にあなたと名誉会長ロルフ・ポートマン博士がマネジメントバイアウトを実行しました。その理由は？

ASUAGはオリスに未来を見出せませんでしたが、私とポートマン博士は違いました。過去80年間、オリスは品質とデザインで世界的な評価を築いてきました。この認知がオリスを再び成功へ導くと信じていました。ポートマン博士には選択肢がありました。工場を閉鎖するか、私と数名の株主とともにリスクを取るか。私たちはリスクを取りました。

その選択がオリスの未来と独立を守ったのですね。独立はどれほど重要でしたか？

マネジメントバイアウトにより、当然のことですが、私たちは自分たちの責任を自分たちで負うことになりました。当初は非常に不安で、酸素が足りないような感覚でした。しかし、すぐに学び、俊敏になり、より大胆になりました。大胆な決断を下し、自分たちのやり方で進み、私たちの製品とストーリーには市場があることを実感しました。人々はオリスの理念、時計、そして独自の精神を好んでくれました。今日、独立は私たちのマインドセットです。それが私たちを鼓舞し、すべての意思決定を支えています。

私たちには選択肢がありました。工場を閉鎖するか、リスクを取るか。私たちはリスクを取りました。

右：オリス ヘルシュタイン アーカイブ — 時計づくりの歴史が息づく宝庫
最右：1904年から続く、オリスの高品質な機械式時計のデザイン哲学



50年前、機械式時計は道具でした。今では高級品です。それでも残っていることに驚きますか？

全く驚きません。機械式時計の部品が運動する様子は、常に喜びと驚きをもたらします。私たちが機械式時計だけを作るのではなく、それが感情的な価値を持ち、長期的に価値を保つからです。

ビッグクラウン ポインター デイトは、オリスと機械式時計の物語をどう語っていますか？

最初のポインター デイト搭載オリスウォッチは1938年に登場しました。マネジメントバイアウトの後、私たちは機械式時計に集中する決断を下し、その時、この伝説的な機構コレクションの柱に据えることを決めました。それは今日まで続き、約90年間変わらぬ存在です。

世界を旅してきたあなたにとって、ビッグクラウン ポインター デイトはオリスをどう象徴していますか？

私が世界に伝え続けてきた重要なメッセージは、オリスの価値観です。機械式時計への情熱、1904年以来の誇り高き伝統、スイスのルーツ、新しいことに挑戦する意欲、そして独立した思考と行動。ビッグクラウン ポインター デイトは常にこの物語を美しく語り、オリスのアイコンとなっています。

そして今、「ブルズアイ」バージョンが復活しました。その背景と特徴は？

このスタイルは1920年代にオリスの時計に初めて登場し、1940年代から1970年代にかけて非常に人気がありました。私は常にこのデザインが好きで、バイアウトの後に再び採用しましたが、時の流れの

中で失われてしまいました。最後に製作したのは1998年。最近それを見つけたとき、その力強い魅力を改めて思い出しました。再び戻ってきたことは素晴らしいことです。

時計業界で半世紀を過ごしてきた今、どんな思いがありますか？

残念ながら、機械式時計はますます高所得者層しか手に入れられなくなり、多くの企業がその道を進んでいます。私たちは常に、スイス製機械式時計の力と価値を、適正な価格で信じてきました。それは喜びをもたらします！50年前と同じように、私はこのビジョンに魅了された人々が常に存在すると確信しています。オリスは常に彼らのためにあり続けます。

ビッグクラウンポインターデイト 「ブルズアイ」

「ブルズアイ」が帰ってきました。スタイリッシュなクールグレーとブラックのダイアルに赤のディテールをあしらい、チエルボ ボランテ製の鹿革ストラップを備えています。

詳細

ケース マルチピースステンレススチールケース
サイズ 38.00mm
厚み 12.20mm
ラグtoラグ 45.50mm
ダイアル クールグレー/ブラック、赤いディテール
蓄光材 針とインデックスにスーパーパーミノバ®
トップガラス サファイアガラス、両面ドーム型、内面無反射コーティング
ケースバック ステンレススチール製、ねじ込み式、シースルーミネラルガラス
リューズ ステンレススチール製ねじ込み式リューズ
ストラップ チエルボ ボランテ製ブラック鹿革ストラップ、クイックチェンジシステム
防水性 5気圧(50m防水)

ムーブメント

ナンバー Oris キャリバー754
機能 センター時分秒針、ポインターデイト、ストップセコンド
巻き 自動巻き
パワーリザーブ 41時間
販売価格 368,500円(税込)
発売 1月



Big Crown Pointer Date "Bullseye"
754 7779 4061-07 5 19 25



本プレスリリースに
関するお問い合わせ：
ORIS.CH

03-6260-6876
INFO.JP@ORIS.CH



ORIS
HÖLSTEIN 1904